

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	フローダイバータースtent留置シミュレーションソフトウェアの開発		
1. 研究の目的と方法	＜研究の目的＞ 頭蓋内stent留置シミュレーションソフトを用いて、シミュレーションを行った際に得られるstent留置部位でのstentの形およびstentの長さの予測値と、実際の手術で留置されたstentから得られるstentの形およびstentの長さを比較することで、シミュレーションソフトの正確性を検証することを目的とします。 ＜研究の方法＞ 脳動脈瘤患者さんから医療情報や医療画像データを取得し、得られた情報をもとにstent留置シミュレーションを実施します。実際の手術でstentを留置した際に得られたstentの形およびstentの長さを、シミュレーションにより得られた結果と比較します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2030 年 6 月 30 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	脳動脈瘤の患者さんで、2016 年 10 月 1 日～2026 年 5 月 18 日の間に東京慈恵会医科大学附属病院・葛飾医療センター・附属第三病院・附属柏病院および東京科学大学・虎の門病院にて頭蓋内stent留置術による血管内治療を受けた 20 歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、病歴、家族歴、喫煙歴、飲酒歴、既往歴、手術名、治療内容、検査結果（画像検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療に使用される画像データを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座
		氏名	石橋敏寛
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座 佐々木雄一	

	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	東京理科大学 工学部 藤村宗一郎 東京科学大学 血管内治療科 壽美田一貴 虎の門病院 脳神経血管内治療科 鶴田和太郎
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。 提供方法：追跡可能な方法で郵送 試料・情報の利用または提供予定開始日：2025 年 10 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京科学大学 研究責任者：壽美田 一貴（すみた かずたか） 電話番号：03-3813-6111	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。